



## PTA 防災研修会 報告

### 「災害を知る&考える シールワーク リアルに備えること」

9月6日(水)、23名の保護者(オンライン2名含む)参加の下、本校卒業生保護者であり防災士でもある山本真紀様をお招きし、昨今の自然災害の被害状況や避難の現状を、スライドを混じえお話し頂きました。シールを使ったワークショップでは、災害時に自分のバッグに何を入れて持ち出すかをシミュレーションしましたが、各々の価値観で違う事や何が本当に必要なのかを考えさせられる時間となりました。展示された防災グッズは目新しい物も沢山あり、簡易トイレや段ボールベッド等、避難所のことを知る良い機会となりました。災害時はまだまだ「障害のある子が居るから、家の方が安全だろう」という考えが多いと思いますが、平日頃からご近所との交流をする事で周りの理解を得て支えて頂ける環境作りも必要だと教えて頂きました。(PTA 研修委員長)



## 研修を終えて

防災研修に参加して「もし災害が起きたらどうするか」家族と話し合いました。まず命を守ること、どこに避難するのか、別々の場所で被災した場合どうするか、非常持出品はどんな物が必要か、トイレやライフラインをどうするか等。

各家庭それぞれ違うと思います。地震はいつ起きるか分からないため備えが必要です。災害時の不安を少しでも減らせるよう今できることを始めてみませんか。



## ～おうちで疑似体験～

### 防災士資格をお持ちの高等部保護者さんより

学校では火災や地震を想定した避難訓練を行っていますが、ご家庭でも工夫次第で疑似体験ができます！

○養生テープ(黄緑色がお勧め)を貼った水泳のゴーグルをかけると、火災の煙に似た視界になります。それでお家の中を歩いてみてください。逃げる時に危ない場所はありませんか？

○水を入れたビニールプールの中を、靴を履いたまま歩いてみてください。浸水時の体験になります。(小さなお子さんはボールプールがお勧めです)どちらも滑りやすいので、転ばないように注意してください!家から避難所までの時間、歩き続けられますか？

子どもたちと遊びながら、楽しく防災を取り入れてくださいね！

### 高等部保護者さん災害時の実体験より

何年も前の冬、大雪が降って電線が切れ、電気が使えなくなったことがありました。うちには暖をとるものはファンヒーター、電気毛布、電気カーペットと、肝心のストーブがなく復旧するまでの間、車に乗って何時間か暖房をつけて過ごしました。

それからまた同じことが起こりうるかもしれないと、いざという時のためにストーブを買いに行った記憶があります。それからは使っていませんが。

経験して必要だなと思うものってありますか？持っておくと良いよって物などあったら教えてください。